

7 平成15年度教員長期研修（県立美術館派遣）

研修の概要

学校と美術館との連携を推進する方策のひとつとして、教員の長期研修員を当館に初めて受け入れた。この研修は県教育委員会義務教育主管課が所掌するもので、当館派遣では図画工作科、美術科及び総合的な学習の時間等全般を対象とする教育実践に役立つ課題を研修することを目的としている。

研修の実施に当たっては、各研修生がそれぞれの課題に沿って研修テーマを設定し、研修の具体的な内容や方法、日程等を計画して自主的に進められた。当館としては研修をサポートするとともに、美術館諸事業への参加等の研修機会を提供した。

初年度にあたる平成15年度は2名の小学校教諭を研修期間1年間で受け入れた。研修終了後は教育現場での研修成果の検証・発展が期待される。

研修の実施状況

研修員氏名	下重千香子	富永美智代
所属校	安浦町立三津口小学校	安芸津町立風早小学校
研修題目	図画工作科における鑑賞意欲や表現意欲を高める鑑賞指導の工夫—美術作品との出会いを大切に— にした指導を通して—	図画工作科における美術館を活用した学習の工夫—情報機器による美術館所蔵作品の効果的な活用を通して—
研修題目設定の理由	現在の図画工作科では表現偏重の実態があるため、鑑賞指導を工夫して鑑賞活動の充実を図ることにより、児童の鑑賞や表現に対する意欲を高めることを企図した。	地理的問題などにより美術館訪問が実現しづらい実態を踏まえ、情報機器を活用した指導方法を工夫することにより、効果的に美術館と連携することを企図した。
研修内容	○所蔵作品を活用した発達段階に応じた鑑賞教材づくり ・子どもの興味関心を引き出すもの ・子どもの創作意欲を高めるもの ・作品のよさ、美しさを味わうことができるもの ・作者の生き方、考え方に共感できるもの ○誰でも楽しく鑑賞指導ができる教師のためのハンドブック（事例集）づくり ○美術館諸事業への参加	○学校教育と美術館との連携の工夫 ・インターネットを利用した方法（児童向けWebページの作成） ○美術館を活用した図画工作科の教材研究 ・教科書題材に関連する美術館所蔵作品の対照表を作成 ・児童用鑑賞ガイドを作成 ○情報機器を利用した授業の創造 ・美術館所蔵作品をとり入れた授業づくり ○美術館諸事業への参加
研修日程	4月 研修題目の設定、研修計画の立案 4～6月 研修に必要な資料収集、文献研究 5～6月 児童・教師の図画工作科・美術館に関する意識調査（分析と考察） 7～10月 鑑賞教材づくり ハンドブックづくり 7～12月 検証のための授業計画と実践 1～3月 研修のまとめ、報告書の作成 年間 美術館諸事業の体験・実習	4月 研修題目の設定・研修計画の作成 5～6月 図画工作科題材に関連する美術館所蔵作品との対照表作成 7～10月 対照表による美術館所蔵作品の児童用ガイド作成 美術館に関する児童の意識調査（分析と考察） 11～1月 検証のための授業計画と実施 事後調査の実施（分析と考察） 2～3月 研修のまとめ・報告書の作成 年間 美術館諸事業の体験・実習
研修の成果物	○鑑賞の充実を図るための年間指導計画（試案） ○広島県立美術館所蔵作品を活用した教材集—楽しい鑑賞授業をつくる先生と子どものため— に—	○広島県立美術館HP “こどものページ” ○教科書題材に関連する県立美術館所蔵作品の活用表 ○広島県立美術館所蔵作品“児童用鑑賞ガイド”